

平成 22 年 9 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社メディックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号 2369: 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊
(Tel: 03-6415-4031)

DNA解析技術を用いた『おくすり体質検査』サービス開始のお知らせ ～本サービスに関して特許出願いたしました～

当社グループは、「個人に適した医療の実現」を経営理念として、これまで製薬・バイオ企業、大学研究機関などを対象に新薬開発に係るバイオマーカー探索支援事業を行っております(PGx支援事業)。さらにPGx基盤技術やノウハウをベースとした個人向け健康管理支援サービス『DNAプライベートバンク』サービスを展開しております。

本年より当社子会社の株式会社メディックにおきましては、PGx事業や『DNA プライベートバンク』サービスにおけるノウハウを活用した、新たな個人向け健康管理支援サービスとして、『**おくすり体質検査**』サービス(以下、本サービスという)の技術開発及びビジネススキームの構築を進めてまいりました。

このたび、本サービスに関して特許出願をし、本特許に基づいたサービスを開始することといたしましたのでお知らせいたします。

本サービスの概要

薬剤の有効性や副作用には個人差があり、その個人差は肝薬物代謝酵素(CYP)の遺伝子多型が関係することが明らかになっております。

本サービスは、肝薬物代謝酵素(CYP)のなかで主要な4つの酵素の遺伝子タイプ(CYP1A2、CYP2C9、CYP2C19、CYP2D6)を検査し、一人ひとりの薬剤の有効性や副作用に対して予知する際の目安となる情報をご提供するものです。この4つの酵素は、現在処方薬として使用されている薬剤のうち、約70%近くの薬剤の代謝に関わっているものと考えられております。

本サービスは、予め自身の薬物代謝の能力を知ることによって、薬の効果が得られない、副作用が発生するなどのリスクを予防することを目的としており、自身の体質に合った薬剤を選ぶ際の目安としてお使いいただくものです。

本サービスは、BtoBtoCモデルで医療機関を通じて広く一般の個人の方に検査及び情報をご提供いたします。検査は4種類の薬物代謝酵素に関して、それぞれ該当する薬剤に対して「平均タイプ」「注意タイプ」「効き過ぎタイプ」の3つのタイプのいずれであるかを結果としてご提供いたします。また、同時に「おくすり体質検査解説書」をご提供し、それぞれのタイプの個人が配慮したい薬剤リストなどの詳細情報をお知らせいたします。さらに遺伝子と薬剤に関する最新の研究成果を随時ご提供し、『**おくすり体質検査**』の結果をご活用いただけるよう検査後も引き続きサービスフォローを行ってまいります。

なお、本サービスに関しましては現在特許を出願中であります。

本サービスの社会的意義

現在、製薬企業においては新薬開発段階で CYP 解析結果を薬剤の有効性改善や副作用発現の防止のために利用しております (PGx 事業)。しかしながら、薬剤の添付文書には CYP の情報が既に記載されてはいますが、CYP の遺伝子タイプを検査している人がいないので事実上活用されていないのが現状となっております。

本サービスにより、一人ひとりが薬剤代謝酵素のタイプの情報を持つことで、配慮したい薬剤を予め認識することが可能となり、現在製薬企業などより添付文書などで提供されている薬剤代謝酵素とそれぞれの薬剤有効性や副作用リスクとの関連情報を組み合わせることにより医療現場で活用していただくことを目指すサービスであります。

サービスのご提供開始時期

平成 22 年 9 月下旬を予定しております。

サービスの価格

1 検査 31,500 円 (税込み) 以内を予定しております。

提携クリニックにおけるサービス内容の違いなどにより価格は変動します。

なお、本サービス開始による平成 22 年 12 月期 (平成 22 年 1 月 1 日 ~ 平成 22 年 12 月 31 日) における連結業績見通しに与える影響は軽微であると考えております。

肝薬物代謝酵素とは・・・

肝臓で薬物の代謝を行っている酵素で、遺伝子に変異を持つ人は変異を持たない人に比べて代謝能が低いことが分かっています。薬剤の投与量は数回の臨床試験を経て決められていますが、日本人において大多数である変異を持たない人に合わせて投与量が決定される傾向があります。

そのため、比較的少数である変異を持った人にとっては通常の投与量であっても代謝能が低い場合、血中濃度が高くなってしまい、副作用が発生するなどの症状がみられる場合があります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディビック

テラーメイド健康管理事業部 (おくすり体質検査事務局)

Tel : 03-6415-4038

E-mail : okusuri@medibic.com

株式会社メディックグループ

当社グループは、個人の体質に合わせて副作用の少なく効果の高い薬を処方できるテーラーメイド創薬の実現を目指す企業です。具体的には、医薬品開発や研究などを行う製薬企業や研究機関などに対し、個別化医療やテーラーメイド創薬を推進するサービスや製品を提供しています。

薬の効き目の個人差を示す体質は、遺伝子によって決められています。個人の遺伝子タイプが分かれば、体質に合ったより効果の高い薬を選択し処方することができ、また、副作用も最小限に留めることができます。このため、製薬企業では遺伝子と薬の関係を調べて医薬品開発をするようになってきています。そこで必要となるのが、PGx（ファーマコゲノミクス）です。

当社グループは、PGxを総合的・戦略的に支援できる体制を整えています。当社グループが独自に築いた、バイオ最先端の技術・情報網、そして医療機関・製薬企業などとの幅広い人的ネットワークの活用により、PGxに対するニーズを的確に掴み、顧客の要望に適した満足度の高いサービスを提供しています。

また、これまでに蓄えてきたノウハウを個人向け健康管理支援サービスとして展開しております。

当社グループは、個の医療と個の健康管理を総合的・戦略的に支援できるユニークな存在として実績を積み重ねることにより、圧倒的に優位なビジネスポジションを築いています。

当社グループの詳細情報は、www.medibic.com をご覧ください。

以上

「おくすり体質検査」とは

これまでのMediBicにおける技術を活用し、「テーラーメイド医療」の実現というMediBicの理念をわかりやすく体現した、「個人の服薬リスク」に備える個人向けソリューションサービスです。

- ▶ 肝臓で薬を代謝する酵素（Cytochrome P450: CYP: シップ）4種類を調べます。
- ▶ 代謝する力が弱いと一部のおくすりでおき過ぎてしまうリスクが生じます。
- ▶ CYPの働きには個人差があり、それを遺伝子検査で調べ、3つのタイプに分けています。



「平均タイプ」



「注意タイプ」

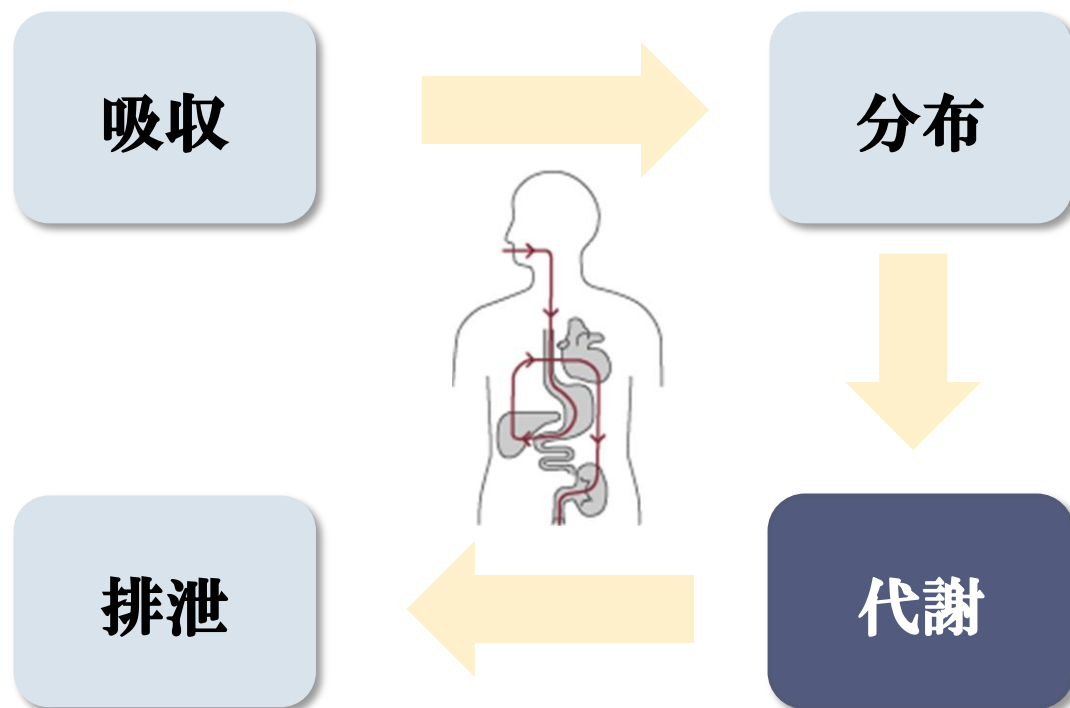


「効き過ぎタイプ」

*特許出願中

「代謝」の能力を調べています

おくすりは、体の中にはいると、まず胃や腸から吸収され、血液によって全身に広がって分布し、その後、肝臓で代謝され、主に尿として体の外へ排泄されます。この吸収→分布→代謝→排泄のプロセスはおくすりの効き方と密接な関係があります。なかでも、**肝臓でおこなわれる「代謝」は特に重要と考えられています。**



「おくすり体質検査」で分かること

MediBic

- ▶ この検査で一部のおくすりで「効き過ぎてしまう体質」かがわかります。
- ▶ 自分に合うおくすりのグループがわかるのでおくすりを選ぶ際の目安がわかります。
- ▶ 軽微な副作用を回避する目安にもなります。
軽微な副作用：ボーっとする、便秘・下痢をする、肩がこる、頭痛、食欲不振、口の中が渇くといった体調の変化も含みます
- ▶ 遺伝子と薬剤に関する最新の研究成果を随時ご提供し、「おくすり体質検査」の結果をご活用いただけるよう、**検査後もひきつづきサービスフォローをします。**



メディビックにおける 「おくすり体質検査」の位置づけ

MediBic

個人

テーラーメイド健康管理事業

提携クリニック

メディビック
「おくすり体質検査」

遺伝子タイプ別の
薬剤種類・投与量調整
の指標の提供

PGx事業

MediBic

遺伝子検査
検体バンキング
検体管理システム
匿名化システム
データ解析

薬剤

有効性↑
副作用↓

テーラーメイド
医療の実現

遺伝子タイプ別の
薬剤開発の支援

製薬企業